



3



2



5



4 1



造

かわちながの ものづくり探訪

Made in Kawachinagano

作

13

創

農業で地域の 発展に貢献したい 垣内農園

1みかんを収穫する垣内義人さん 23共に種無しで皮ごと食べられるぶどう。サクとした食感であっさりした甘みのリザマート(2)と強い甘味が自慢のシャインマスカット(3) 4手のひらよりも大きくなる鬼ゆず 5ぶどう畑を囲むように柑橘類などが栽培されている果樹園

関西サイクルスポーツセン
 ターの程近く、日野地区にある
 垣内農園。垣内義人さん(かきうちよしひと)は大学
 4年生の時に父親の周教(しゅうけう)さんを
 亡くしたことから、卒業後すぐ
 に農業の道へ。「収穫の手伝い程
 の経験しかなかったので、1年
 目は栽培方法など、何が分から
 ないのかも、分かりませんでし
 た」と義人さんは振り返ります。
 今は順調な果樹栽培ですが、
 始めたころは問題も。「リザマー
 トというぶどうを栽培している
 時、収穫前にぶどうの実が割れる
 んです。府に相談し、助言をもらっ
 て何とか問題を解決できました」

と垣内さん。それは乾いた土地
 に急に雨が降ると根が一気に
 水を吸収し、実が急に大きく
 なるからでした。常時土壌が
 乾きすぎないようにした結果、
 割れることはなくなったとのこ
 と。また、雪でぶどうの棚が押
 し潰されたことも。それ以後
 は棚にかける防鳥網は必ず冬
 前に撤去するようになったそ
 う。これらの経験から、手を
 かけ対策を考えて果樹に向き
 合えば、結果や効果が目に見
 える形で現れるということが
 わかったといっています。



垣内農園

主な販売場所 アグリかわちな
 かの、あすかてくるで河内長野店
 販売時期 かんきつ類(11月
 ~2月中旬)、ぶどう(8月~
 9月)、季節のジャム(通年)
 ※季節のジャムは菓子工房ナ
 ポット(錦町25-4)で販売
 ※問い合わせは産業観光課へ

農業を始めて5、6年目の圃
 場整備の完了を機に、ぶどう
 畑を拡大、ぶどうをメインにし
 ながらも、6月はすもも、7月
 は桃、ブルーベリー、8・9月は
 ぶどう、10月は柿、11月から2
 月に柑橘類とい
 うように収穫期
 を適度にずらし
 て果樹栽培を続
 けています。

とに一粒とって、自分の舌で味
 を確認すること。それはまる
 で、自分の作品に責任を持つ
 職人のような。また農薬の使用は
 最小限に抑え、化学肥料や除
 草剤は一切使わないのだとか。
 「いい果物を作ろうとつきつ
 める中で、いろいろな人と関わ
 りお話をし、それを仕事に反
 映していくことが楽しい。高
 齢化が進んで、農業をする人が
 減っているの、村おこしでは
 ないが、日野で頑張り続けるこ
 とで、地域の発展に貢献できれ
 ば」と垣内さん、チャレンジは
 まだまだこれからです。



▲これから旬の柑橘類や
 柿、奥さんのみつ絵さんが農園の果物を加工・販
 売する季節のジャム